

[成果情報名] 小輪、濃桃花、一重咲きの切り花用マーガレット新品種「伊豆 27 号」

[要約] 交雑育種法により、小輪、濃桃花、一重咲きの切り花用新品種「伊豆 27 号」を育成した。本品種は、開花時期が早く、年内採花本数も多く、現地の適応性も高いことから、切り花用品種として有望である。

[キーワード] 切り花、マーガレット、新品種、伊豆 27 号

[担当] 静岡農林研・伊豆農業研究センター

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

マーガレットは、静岡県南伊豆地域の特産花きとして昭和初期から栽培されている。近年の温暖化傾向で、夏秋期の気温が高く、花芽分化の抑制等により年内の開花が不安定になっている。このため、年内から安定して開花し、生産性の高い切り花用の新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 育成経過：平成 18 年度に静岡県農業試験場南伊豆分場（現伊豆農業研究センター南伊豆圃場、賀茂郡南伊豆町）において、育成品種「ピンクサザンキャンドル」に育成系統「04-17-1」の花粉を交配して得られた 108 個体から 1 個体を選抜して、「06-3-1」の系統名を付与した。平成 19 年度に二次選抜及び現地適応性試験を行い、有望性が確認できたことから、育成系統候補「伊豆 27 号」として、平成 19 年 12 月に育成を完了した。
- 2 . 生育特性：「伊豆 27 号」は、小輪タイプの一重咲きの濃桃花で、開花時期が早く、「ピンクサザンキャンドル」より着らい数が多い。開花時の草姿が良いため切り花用に向く。
- 3 . 現地適応性：「伊豆 27 号」は、現地での開花開始は 10 月下旬で、草姿・花型が良く、「ピンクサザンキャンドル」の代替品種として評価された。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 種苗法による品種登録を出願済みであり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

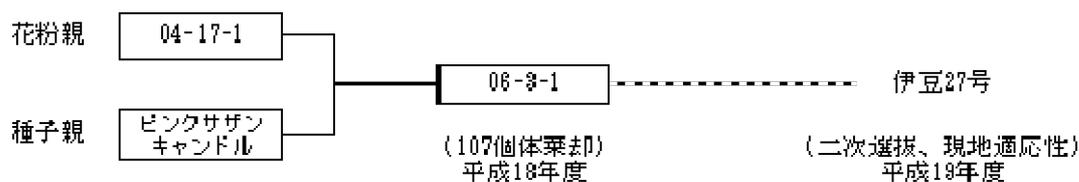


図1 「伊豆27号」の育成系統図

表1 「伊豆27号」の生育開花特性²

系統名	草型	草丈	葉の形質						葉色 ³	開花		花 色			x	w	
			葉片幅	葉の欠刻	葉緑の濃さ	葉の粗さ	葉身長	葉身幅		開始	花 径	花 型	舌状花	管状花			年内本数
伊豆27号	球	極長	狭	深	深緑	中	短	中	緑	10月F	小	一重	濃桃	茶	3.3	6.3	A
ピンクリボンキャンドル ⁴	立	長	狭	深	深緑	中	短	中	濃緑	11月中	小	一重	濃桃	茶	3.5	5.5	-
フェアリーナイトピンク ⁵	中	長	狭	深	深緑	中	短	中	濃緑	9月F	中	一重	淡桃	茶	3.3	5.3	-

¹ 生育特性は種苗分類調査報告書(マーガレット)による栽培期間中の観察調査
² 葉色は「在来白」(緑)を基準とした場合の濃淡による観察調査
³ 採化時点で日向基準を満たしていると考えられるもの本数(別花長4.0cm以上)
⁴ 選抜基準、A: 初花形、B: 鉢植(花壇)用、C: 交配素材、x: 棄却
⁵ 対照品種

表2 育成系統現地試験の概要(平成19年度)¹

系統名	花色	花型	花径	草丈	開花開始 ²	現地生産者 ³ の観察状況	評価 ⁴
伊豆27号	濃桃	一重	小	中	10月下	草姿良い(A、B、D、G) 「ピンクサザンキャンドル」の代替として有望(A、B、C、D、E、F、G)	○
在来白	白	一重	小	中	10月中	対照品種	-
プリンセスリトルホワイト	白	二重	小	中	9月下	対照品種	-

¹ 花径、草丈等の特性は「在来白」を基準に記載(特性調査基準に準拠)
² 6月下旬定植の作型における開花時期
³ 東伊豆町(A)、河津町(B、C)、南伊豆町(D、E、F)、西伊豆町(G)
⁴ 評価、x: 適さない、△: やや適する、○: 有望



図2 「伊豆27号」の栽培状況と花型

[その他]

研究課題名：マーガレット新品種の育成と生育特性の解明
 予算区分：県単
 研究期間：2007年～2011年
 研究担当者：稲葉善太郎